

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

その夢の、一步先へ。お客さまのパートナーとして、一人ひとりのいまと未来に親身に寄り添い、社会課題を解決し持続可能な社会を実現する。

経常利益
250億円超経常利益
500億円超ROE
7.5%以上ROE
12%以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業構造改革の完遂

不採算分野縮退・事業効率化を通じた事業ポートフォリオ再構築。
マーケットイン営業改革を実践し経営資源を成長領域に配分。

2. 顧客体験価値創造

eオリコを入口にした新体験提供でロイヤリティ向上。与信・回収
・オペレーションのレベルアップでネットワーク経済圏構築。

3. 中小企業向け金融支援

キャッシュレス社会実現に向け、法人与信モデル高度化と企業間決済・DX支援拡充で地域経済活性化に貢献。

4. サーキュラーエコノミー

リユース・リサイクル市場深掘。所有から利用へのシフトを捉えた
資源循環市場での新サービス展開。

③ 対処すべき課題

① キャッシュレス化と不正対策

- ・決済手段多様化で不正・金融犯罪が深刻化。安全安心かつ利便性高いキャッシュレス環境整備が最重要課題。
- ・中小企業99%がキャッシュレス化・業務効率化ニーズ高まる。企業間決済・売掛金決済保証等の支援必須。

② 多様な顧客ニーズへの対応

- ・フリーランス・在留外国人・高齢者など顧客属性多様化。ライフスタイル変化に対応した新金融サービス開発が課題。
- ・分割払い・決済保証・個人向けリースなど領域拡大で多様なニーズ対応。

③ 事業体質強化と成長基盤構築

- ・前中期経営計画で海外事業・貸倒増大、事業構造改革遅れで収益力低下。2030年度ビジョン達成へ事業再編急務。
- ・与信力とテクノロジーかけあわせで競争優位源泉確立。PBR1倍超実現と新金融モデル確立が最終目標。

面接で使えるポイント

- ・与信Xテクノロジーで新金融シーン創出。審査・回収などの与信力とAI・デジタルを組み合わせた先進企業志向。
- ・キャッシュレス社会実現・中小企業DX支援・循環型社会実現の4つのマテリアリティで社会課題解決と企業価値両立。
- ・2030年3月期経常利益500億円超・ROE12%以上達成へ事業構造改革完遂。顧客から選ばれ続ける企業へ変革中。

証券コード 8585

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,476億円営業利益率
5.8%財務健康度
25点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 47.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

その他金融業内 23位/38社

平均年齢
43.1歳

その他金融業内 12位/38社

平均勤続
17.3年

その他金融業内 3位/38社

女性管理職
30.2%

その他金融業内 8位/27社

男性育休
97.0%

その他金融業内 9位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
株式会社オリエントコーポレーション事業要約
…

主力事業・セグメント

- ・InstallmentCredi 34.3%
- ・Creditカード・Direct 31.9%
- ・銀行ローンGuarantee 16.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,476億円の事業規模
- ・平均勤続17.3年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: マネーフォワードエックス、オリエントコーポレーションと中小企

